

秀峰通信

平成29年夏号 No.72

社会福祉法人 秀峰会
〔理念〕

1. 人間が主体である
2. 連帯の輪を無限に広げていく
3. 日に日に新たな今日を創造していく



「第11回 研究・改善発表大会～多職種連携を含めた成果発表～」
6月4日開催（340名参加）

その人らしく生活してほしい。その人の希望に合った支援をさせていきたい。私たちは、そう思いながら日々活動を続けています。その活動をより良くするためには私たちは、介護・看護・医療・保育など様々な職種、サービス事業所、地域の方々の連携や協力が求められます。それぞれの職種の職員が専門性を発揮し、責任ある活動を行っていく。そのことによって、ご利用者や地域で生活する方々に必要とされる存在になりたいと考えています。私たちは、日々そう願いながら「多職種連携と支援活動」をより良いものにすることに取り組んで参ります。今後私たちが進めてきた各職種やサービス事業所間の連携を更に発展させていき、地域で生活される多くの方々に、安心して笑顔で暮らしていただけるような活動を目指します。

**人それぞれの生活を
支援するために**

社会福祉法人 秀峰会
研究・改善発表大会 座長
訪問看護サービス事業部 部長
山田 貴之

平成28年度決算報告

秀峰会は地域包括ケアシステムの方向性を見据え、在宅サービスの充実と地域密着型サービスの強化に取組み、平成28年6月に秀峰会としては初の土日祝日営業で夜勤体制完備の訪問看護ステーション「ナース24 港北」を開所しました。また平成29年4月には「小規模多機能型居宅介護 われもこう」を保土ヶ谷区に、「つくし保育園 戸塚」を戸塚区に開所しました。その結果、平成28年度末において秀峰会が運営する事業所数は153となりました。平成28年度の事業収入は110.9億円と、前年度を3.8%上回る結果となりました。介護報酬の下方改定や慢性的な人手不足等の影響で経営環境は厳しさを増しておりますが、今後も継続して経営基盤の強化に取り組んでまいります。

秀峰会の平成28年度決算の概要は以下のとおりです。平成28年度決算において、会計方針の変更として“賞与引当金”の計上を行いました。この結果、事業活動計算書の当期活動増減差額が約5.2億円減少しておりますが、本年度のみの一過性のものであります。

平成28年度決算概要

1. 資金収支計算書

(単位：円)

項目	収入	支出	収支差額
事業活動資金収支の部	11,191,632,232	10,879,042,248	312,589,984
施設整備等資金収支の部	14,695,500	21,431,375	△6,735,875
その他の活動資金収支の部	0	89,579,668	△89,579,668
当期資金収支差額	11,206,327,732	10,990,053,291	216,274,441
前期末支払資金残高			3,531,677,806
当期末支払資金残高			3,747,952,247

2. 事業活動計算書

項目	収入	支出	増減差額
サービス活動増減の部	11,059,904,821	11,265,526,510	△205,621,689
サービス活動外増減の部	33,678,425	15,270,177	18,408,248
特別増減の部	14,797,724	15,371,936	△574,212
当期活動増減差額	11,108,380,970	11,296,168,623	△187,787,653
前期繰越活動増減差額			4,196,560,099
その他の積立金積立額			70,000,000
次期繰越活動増減差額			3,938,772,446

3. 貸借対照表

勘定科目	年度末残高	勘定科目	年度末残高
流動資産	4,811,078,503	流動負債	1,616,995,089
固定資産	2,976,878,669	固定負債	587,023,616
基本財産	1,469,342,343	負債の部合計	2,204,018,705
その他の固定資産	1,507,536,326	基本金	202,866,636
		国庫補助金等特別積立金	1,261,299,385
		その他の積立金	181,000,000
		次期繰越活動増減差額	3,938,772,446
		純資産の部合計	5,583,938,467
資産の部合計	7,787,957,172	負債及び純資産の部合計	7,787,957,172